

# 平成 29 年度重点事業

平成29年 2 月 3 日

湯沢市総合教育会議

- (1) 生活困窮者自立支援事業「子どもの学習支援事業」  
＜福祉保健部福祉課＞
- (2) 放課後児童健全育成施設整備事業      ＜福祉保健部子育て支援課＞
- (3) 小中学校統廃合計画の見直し              ＜教育部教育総務課＞
- (4) 英語コミュニケーション能力育成事業      ＜教育部学校教育課＞
- (5) 「音楽のまちゆざわ」推進事業              ＜教育部生涯学習課＞
- (6) スポーツで輝く人づくり推進事業            ＜教育部生涯学習課＞

# 平成29年度重点事業（1）

（所属：福祉保健部福祉課）

<b>事業名</b>	生活困窮者自立支援事業 「子どもの学習支援事業」
<b>現状・課題</b>	被保護世帯の子どもが、大人になって再び生活保護を受給するという「貧困の連鎖」が指摘されており、また、生活困窮と低学歴・低学力の問題には相関があると考えられることなどから、被保護世帯を含む貧困家庭の子どもに対する学習支援等を行っていくことが、「貧困の連鎖」を食い止める一つの方策として有効であると考え、平成26年10月に厚生労働省の生活困窮者自立促進支援モデル事業（任意事業）として実施した。
<b>事業の内容</b>	<p><u>&lt;事業のねらい&gt;</u></p> <p>本事業では、まず、どちらかという生活リズムが乱れている児童・生徒の学力が低下している点に着目し、始めに基本的な生活習慣を確立させ、そのうえで勤労意欲の向上を図り、対象者個々の適性を把握する。次に、進路への目的・目標を明確にさせ、自分の将来像・未来への希望を抱かせることで、学習意欲を増加させ、学習習慣の確立につなげるなど、一貫した取組を行う。</p> <p>これにより、進学・就職・起業と、子どもたちの将来の選択肢を広げ、最終的には地域に貢献できる人材を育成することが可能となると考える。</p> <p><u>&lt;事業の概要&gt;</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・委託先/トータルサポートスクール リード学舎</li><li>・支援体制/学習支援員6人、ボランティア18人</li><li>・開催日時/湯沢地域・・・毎週火曜日 18：00～20：00 稲川地域・・・毎週金曜日 18：00～20：00</li><li>・開催場所/市役所など</li><li>・参加者/21人 湯沢地域 16人 稲川地域 5人</li><li>・対象者/小学校3年生から高校1年生</li><li>・周知方法/「生活保護受給世帯」・・・募集チラシを配布。 「母子・父子の世帯」「就学援助受給世帯」 ・・・募集チラシを郵送。</li></ul>

＜特徴・工夫した点＞

- ①基本的な生活習慣の確立から始まり、勤労意欲の向上、学習意欲の増加へとつながるような段階的、計画的、発展的支援を実施
- ②平成28年度から、教育委員会との連携を果たし、iPadを利用した学習を導入
- ③登録制市役所職員ボランティア制度

＜苦勞した点＞

それぞれ複雑な事情を抱えているため、「生活困窮者世帯の子ども」ということが必要以上に注目されないように細心の注意を払っている

＜学習支援事業の効果＞

- ・事業開始から、受験指導には力を注いでおり、受験生は全員第一志望高校、第一志望大学に合格
- ・平成28年度は、教科学習に関して、通常クラスと特別な支援が必要な児童生徒のクラスに分けて実施したことで成績向上。
- ・保護者からは「宿題で間違っているところを優しく教えてもらったと喜んでいた」、「授業でやった「将来の夢」について目を輝かせて話してくれた」「自ら計画を立てて動くようになった」「お手伝いをしてくれるようになった」「参加することを毎回楽しみにしている」「やればできるということが理解できるようになった」といった声が寄せられている。

## 平成 29 年度重点事業（2）

（所属：福祉保健部子育て支援課）

事業名	放課後児童健全育成施設整備事業
現状・課題	<p>日中労働等で家庭に保護者等の家族のいない放課後児童を対象に、家庭との連携を図りながら保護者等が帰宅するまでの間、児童の保護及び遊びを主とする放課後児童健全事業を実施している。</p> <p>このうち、湯沢南児童クラブは市内でも児童数の多い湯沢西小学校を対象学区として平成6年に開設したが、保護者の就労等の増加や6年生までの受け入れにより、利用児童数も年々増加傾向にある。</p> <p>開設当初から併設する湯沢コミュニティセンターの体育館を使用することで面積要件を満たしてきたが、児童集会室が手狭なため、冷暖房設備の無い体育館で事業を実施せざるを得ないなど厳しい環境にあり、かねてより利用者をはじめ各方面から増築要望が出ていた。</p>
事業の内容	<p>①児童室を増築して2部屋とする。</p> <p>②既存児童室の床の傾斜を解消し、児童室と静養室を整備する。</p> <p>③和式トイレを洋式に改修する。</p> <p>※手狭な児童室が改善され、児童の健全な育成を図ることができる。</p>

## 平成29年度重点事業（3）

（所属：教育部教育総務課）

<b>事業名</b>	小中学校統廃合計画の見直し
<b>現状・課題</b>	<p>本市小中学校の統廃合については、平成19年度の「市小中学校統廃合計画（中間報告）」を基に関係者と協議を重ね、意見や要望を踏まえて「市小中学校統廃合計画の今後の方針について（平成21年度）」を示して進めてきた。その結果、市町村合併時、小学校19校、中学校7校が、現在は小学校11校、中学校6校となっている。</p> <p>平成27年1月、文部科学省より示された「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」では、児童生徒の教育条件の改善の観点を中心とした検討が求められており、本市においても今後の望ましい学習環境について検討を要する。</p>
<b>事業の内容</b>	<p>保護者・地域住民・学識経験者等による検討組織を立上げ、「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（文部科学省）」を踏まえ、現状分析や調査、検討を進め、保護者や地域住民と共通理解を図りながら、本市における望ましい学習環境について方針をまとめる。</p> <p>この方針を基に、学校統合や小規模校の充実等、将来を見据えた児童生徒の学習環境の改善に取り組んでいくものとする。</p>

## 平成29年度重点事業（4）

（所属：教育部学校教育課）

<p><b>事業名</b></p>	<p>英語コミュニケーション能力育成事業</p>
<p><b>現状・課題</b></p>	<p>今後のグローバル社会に備え、平成32年度の学習指導要領から、小学校英語の教科化、外国語活動の小学校3，4年生への拡充、中学校英語の高度化が始まる。</p> <p>市では、平成28年度より文部科学省の研究指定による授業改善、ALTの増員や教育専門監の配置など、学習環境の整備等を4年計画で段階的に進めている。（平成30年度先行実施予定）</p> <p>外国人と接する機会の少ない本市においては、児童生徒の英語に対する興味・関心、学ぶ意欲の向上が大きな課題となっている。小・中学校が連携しながら授業改善に取り組み、英語を学ぶことに目標をもたせ、学ぶ意欲を高めながら英語コミュニケーション能力の向上を目指す。</p>
<p><b>事業の内容</b></p>	<p>① あきた発！英語コミュニケーション能力育成事業（文部科学省指定）【授業改善、指導力向上、学ぶ意欲の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年計画で市内全ての小・中学校で授業改善に取り組む。</li> <li>※平成28年度…稲川中・皆瀬中ブロック【実施中】</li> <li>平成29年度…湯沢北中・山田中ブロック【予定】</li> <li>平成30年度…湯沢南中・雄勝中ブロック【予定】</li> <li>※国際教養大学、市内高等学校との連携。</li> </ul> <p>② 中学校2，3年生全生徒に対して英語検定（4級以上）料1回分を全額補助する。【目標をもって学ぶ、チャレンジ精神の育成、基礎学力の定着、英検3級以上取得（卒業時）率の向上】</p> <p>③ インテンシブ・イングリッシュデーの開催【コミュニケーション能力の育成、国際感覚の醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間2回（夏休み、冬休み）に市内の小中学生を対象とした英語コミュニケーション能力育成教室を開催する。</li> <li>※市ALT5名が、企画・運営する。</li> </ul> <p>④ ALTの活用範囲拡大（保育園・幼稚園 等）</p>

## 平成29年度重点事業（5）

（所属：教育部生涯学習課）

<b>事業名</b>	「音楽のまちゆざわ」推進事業
<b>現状・課題</b>	<p>小・中学校及び高校の吹奏楽・合唱を中心とした、サマーミュージックフェスティバルを毎年開催し、盛り上がりを見せています。平成29年度は、10回目の節目を迎えますので、更に内容を拡充し開催する予定です。</p> <p>現状が、吹奏楽と合唱に特化している状態にありますので、音楽と笑顔があふれるまちづくりへ向けて、さまざまなジャンルで構成する音楽のまちゆざわ推進協議会により、年々施策を拡充できる環境整備を図る必要があります。</p>
<b>事業の内容</b>	<p>平成20年に市が宣言した「音楽のまちゆざわ」は、これまで、サマーミュージックを中心として展開されてきましたが、同イベントは、どうしても吹奏楽が主になる傾向がありました。</p> <p>今後、音楽のまちゆざわを、さらに拡大推進して、市の賑わいづくりにつなげるため、音楽関係者はもとより、企業等の多種多様なジャンルから人選した「音楽のまちゆざわ推進協議会」を組織し、今後「音楽のまちゆざわ」をどのようにしていくべきかについて検討を加え、市民がいつでも、どこでも音楽に親しめるようなまちづくりを進め、音楽を通したまちの活性化を図ります。</p> <p>商工団体、学校、地域等、横断的な人選による、音楽のまちづくりを推進する組織を設立し、推進計画の策定及び事業を実践していきます。</p> <p>音楽のまちゆざわ推進協議会負担金（1,403千円）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・人件費1人（970千円）</li><li>・市役所市民ロビーで月一回開催の「月イチコンサート」における楽器運搬等の支援（428千円）</li><li>・会議費（5千円）</li></ul>



## 平成29年度重点事業（6）

（所属：教育部生涯学習課）

事業名	スポーツで輝く人づくり推進事業
現状・課題	<p>国内トップレベルの大会やイベント等の開催誘致は、市民のスポーツに対する興味・関心を高め、多くの市民がスポーツをする動機付けになることが期待されます。</p> <p>今後は、住民主導あるいは総合型地域スポーツクラブ主導による各種大会の開催はもとより、国内トップレベルの選手を招致してのスポーツイベントや地域を巻き込んだスポーツ合宿の誘致に取り組むなど、スポーツを活用した地域の活性化を推進していく必要があります。</p>
事業の内容	<p>市民のスポーツ参加意欲を高め、競技人口の拡大と地域における賑わい創出を目指すとともに、子どもたちに夢を持つことや夢に向かって努力することの大切さを伝える事業を実施します。</p> <p>①スポーツ講演会等開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・スポーツ講演会の開催（一般市民対象）：294千円</li><li>・プロスポーツ選手によるスポーツ教室の開催（児童・生徒対象）：983千円</li></ul> <p>②スポーツ交流推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・スポーツによる交流人口の拡大を推進するため、市内に活動拠点を有する総合型地域スポーツクラブが地域住民等と協働するなどし、受け入れ態勢を整備して行う交流事業に要する経費の一部補助（総合型地域スポーツクラブ対象、1団体1事業につき上限200千円）：800千円</li></ul> <p>③夢の教室開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・夢を持つことや夢に向かって努力することの大切さを、トップアスリート等が自らの体験に基づき伝える授業の開催委託（小学5年生の児童対象、湯沢東、湯沢西、山田、三関、須川小学校）：850千円</li></ul>